

# 小中学生を表彰 ジュニア防災検定

子供たちに防災に関する知識と行動力を身に付けてもらうことを目的とした「ジュニア防災検定」(防災教育推進協会主催)の2018年度表彰式が、文京区で行われ、約400人が参加した。写真・同協会提供。

同検定は全国の小中学生が参加して13年が特徴だ。



港区立港南小6年の北村健人さんは「震災発生後、生き抜くためのペットボトル活用法」で成績優秀賞と防災自由研究優秀賞をダブル受賞した。湾岸部の高層マンションエリアに大量に捨てられたペットボトルを利用して、サバイバルグッズ(過濾器、蛇口、浮輪、ランタンなど)を作製。「形や硬さがそれぞれ導つので大変でした。

身近なものでも工夫すれば災害時や避難生活で生かせることを知ってほしかったと語

毎日新聞 平成31年4月5日付

グループ部門で選ばれた国分寺市立第二中2年の猪浦美雨さん、會田梨乃さん、同3年の原幸村さん、濱倉実紗さんは、共同で学区のオリジナルハザードマップを作った。「市の載っていない情報を入れ、災害時に自立できるために必要な情報は何かにこだわりました。自分の命は自分で守れるように、多くの人に関心を持ってほしい」と話していた。

【森忠彦】